

令和3年度第1回横須賀市再犯防止対策連絡会議 会議録（要旨）

1 日時 令和3年8月6日（金）から8月25日（水）まで
（各委員への資料送付日から意見等の締切日まで）

2 場所 書面開催

3 出席者（書面会議のため回答者）

委員 18名中 18名

4 資料

- (1) 横須賀市再犯防止対策連絡会議 委員名簿
- (2) 横須賀市再犯防止対策連絡会議の経過について
- (3) 横須賀市地域福祉計画（抜粋版）
- (4) 課題別の（仮称）専門分科会について（意見照会）
- (5) 参考1 再犯の防止等の推進に関する法律 概要
- (6) 参考2 再犯防止推進計画 概要

5 議事

(1) **横須賀市再犯防止対策連絡会議の経過について**
令和元年度及び2年度開催会議の議題を確認した。

(2) **横須賀市内の現状について**

ア 市内の保護観察の状況

横須賀保護司会における担当人数（係属件数）、少年院、刑務所出所後の生活環境調整の件数、保護司の不足の現状等を確認した。

イ 横須賀市地域福祉計画の中の再犯防止対策

本市地域福祉計画の中で規定する再犯防止対策を確認した。

(3) **課題別の（仮称）専門分科会について（意見照会）**

課題別の専門分科会の設置について提案し、今後の会議の進め方等について意見照会をした。賛否結果、主な意見は次のとおり。

No.	照会内容	賛成	反対	主な意見
1	【会議の進め方】 関係する団体、機関で専門分科会を作り、課題について協議し、連絡会議で報告、検討していく。	15	2	【賛成意見】 ・分科会で、再犯防止の各段階での支援の在り方等の課題について検討することは有意義である。
2	【会議の進め方】 課題 A（住居）、B（就労）について横須賀市に合った方法を検討し、その後、C（入口支援）、D（薬物）について行う。	13	4	【賛成意見】 ・住居や就労に関する事項は、地域社会に密接に関係する課題のため、他の項目に先んじて検討を行うことは意味がある。 【反対意見】 ・住居、就労も大切だが、全体的な流れを見る必要がある。

No.	照会内容	賛成	反対	主な意見
3	<p>【会議の進め方】 A（住居）、B（就労）、C（入口支援）、D（薬物）一斉に開始し全体会議のボリュームを図りながら進める。</p>	9	8	<p>【反対意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマが多いと、全体会議の議論がまとまりにくいのではないかと。 ・再犯防止の各段階での支援の在り方等の課題、住居や就労に関する課題の検討状況を踏まえながら、項目を増やしていくことが適当である。 ・一斉に開始した場合、複数の分科会に属する機関・委員の負担が増すため、課題をA、B等に絞って丁寧に議論するほうがよい。 ・住居、就労が重要なので、2の進め方がよい。 ・コロナ禍の状況では、3の進め方は困難ではないかと。
4	<p>分科会の名称について 例) ○○分科会でよい、「専門～」は不要 等</p>	17	0	<p>D（薬物）については、「薬物等」として、アルコール、ギャンブル等の依存症も扱えるよう、幅を持たせたほうがよい。</p>

No.	照会内容	主な意見
5	<p>対象、機関について 例) 全ての機関が分科会に所属すべき、 ○○分科会には○○機関が入るのが望ましい 等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・D（薬物）について、専門医療機関等に出席いただき、飲酒、ギャンブル、クレプトマニア等、依存症対策として協議するのもよいのではないかと。 ・様々な角度から多くの意見があがることの期待、情報共有の観点等から、全ての機関等がいずれかの分科会に所属することが相当である。 ・専門機関のみではなく、他の機関等の意見を聞くことは必要である。 ・修学支援や特性に応じた効果的な指導の一環として、少年の分野に関する分科会を設けるのも一案と思われる。
ー	<p>その他意見について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・横須賀地域の関係機関職員、市役所職員を参加者とし、本連絡会議の委員等を講師とする研修会を開催することも一案と思う。 ・少年の再犯防止のためには、資料2ページ「過程や課題について」の図中、②、④の出所等から学校復帰に至るまでの支援等が大切だが、AからDまでには該当する分科会がない。